



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長
イアン H.S.ライズリー

長井ロータリークラブ会長	渡辺 清隆	第2800地区ガバナー	鈴木 一作
長井ロータリークラブ幹事	大道寺 信	第6ブロックガバナー補佐	小林 正芳
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	会報委員	土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成29年7月11日(火曜日) 第2,713回

【月間テーマ】 指定なし

<例会報告 NO.2> 活動計画発表 Part II 渡部 PG 卓話

☆会長挨拶（渡部清隆会長）



先週の8日土曜日に寒河江のホテルサンチェリーで米山奨学のセミナーが開かれ約1名で参加して参りました。

鈴木一作ガバナーが人生で最も多忙な1年が始まったとの話から米山歴は23年になり、米山の本を40~50冊ほど読んだそうです。

日本のロータリーは1925年にでき、初代会長が米山梅吉さんだったわけですが、その後、大阪、名古屋とつづられ1928年に満洲につづられます。そしてあの有名な大連宣言が古沢文作さんによって作られました。そのことを米山梅吉さんは、京都の大会で古沢さんを大いに褒めたたえます。その後、古沢文作は東京ロータリーに入り、1952年私が1才の時に会長となり、梅吉さんの名前を付けて、米山基金を「国際理解と親善の近道」として作りました。その後1957年に全国組織となり1967年に財団法人になります。おもに大学生・大学院生を中心に日本で学

ぶ外国人留学生へのお金の支援、世話クラブカウンセラー制度による心の交流です。今後日本の生きる道は平和しかない、その事をアジアそして世界に理解してもらうために、一人でも多く留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い信頼関係を築くこと、それが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業です。

現在、国内最大級の事業規模で、累計19,810人の米山奨学の卒業生が、アジアでそして世界で活躍しています。その中の一人、学友会初代会長の金英奎氏による「日本の印象」と題する特別講演がありました。中国の方のロータリーで頼まれたときの返事は「ハイ」と「イエス」しかないといわれていて、その上海から来たそうです。彼は中国でドラえもんや一休さんを見て育った世代で、幼い頃、日本は礼儀正しい清いとても美しい国だと思っていました。しかし学校に入り幼い頃受けた日本の印象は少しずつ変わってきたそうです。戦争ドラマなどを見ているうちに日本を疑う目で見ようになります。大学に入りある歴史の先生から日本の一般の人は平和のために大きく貢献したことを知り、やっと日本の一般国民と戦争の時の軍人の姿を分けて考えるようになりました。そして日本への留学を決意します。裕福な家ではないので来日当初は毎週60時間のアルバイトをしなければならず、勉強する時間が殆どなかったそうです。それでも必死に日本語を勉強して60人中、唯一、学費免除になりロータリー米山奨学生に選ばれます。ロータリー米山奨学生になったお蔭で学業に集中することが出来、初めて感謝・恩返し・奉仕の考えが芽生えてきたと言っています。また、ロータリーのお蔭で幼い頃の日本の印象に戻すことができたそうです。

日本に来たばかりの頃に、よく駅そばを食べていたそうで、みんな、なんでこんなに伸びたそばを食べているんだろうと思っていたそうで、ロータリーの方と本当のそばを食べておいしかったようで、自分とロータリーは親戚でもないのにこんなに優しくしてくれる、お金だけでなく奉仕する豊かな心にもふれたそうです。

2017年は米山財団となって50周年になります。歴史や実態のDVDを作っているそうです。日本らしい世界奉仕、日本と世界を結ぶ人づくりといったもののDVDを各クラブへ送るそうです。今では米山と聞くと長井クラブでは一人8,000円を出しているくらいしかわかっていなかったのですが、米山は日本ロータリー独特の素晴らしい世界奉仕であることを学んできました。

☆幹事報告

- ・ 酒田ロータリークラブ創立50周年記念式典のご案内
- ・ 国際ソプロチミスト長井第17回チャリティーゴルフ大会のご案内
- ・ 高畑ロータリークラブ創立50周年記念誌送付のご案内
- ・ 第14回理事会の内容について
- 8月 朝のクリーン作戦 9月 4クラブ合同例会
新入会員の件

☆委員会報告

- ・ プログラム委員会 塚田弘一 委員長
8月のプログラム
 - 1日 ゲスト卓話 山形県よろず支援拠点
連携推進員 漆山 馨 氏
 - 8日 早朝例会 小さな親切運動協賛 クリーン作戦
 - 15日 お盆休会
 - 22日 ゲスト卓話 山形大学国際事業化
研究センター長 小野寺忠司 氏
 - 29日 会員卓話 五十嵐順子 会員
- ・ 親睦委員会 大山友規憲 会員
7月25日「ビアパーティー」を開催します。
今回はタスパークホテルで開催しますのでよろしくお願ひします。出欠を取らせて頂きます。

<ニコニコBOX>

・ 高橋勇喜知 会員

7/16 息子の結婚式パートI 東京大会です。9/23 パートII はぎ苑大会もあります。大変です。びんぼうになります！

☆活動計画発表 part II

- ・ 会員増強・会員維持委員会 齋藤 喜内 会員
- ・ ロータリー情報・広報・IOC委員会 渡部 堅一 会員
- ・ プログラム委員会 塚田 弘一 会員
- ・ ロータリー財団・国際奉仕常任委員会 浅野 敏明 会員
- ・ ロータリー財団・米山奨学会 委員会 浅野 敏明 会員
- ・ 国際奉仕委員会 浅野 敏明 会員

☆渡部パストガバナーミニ講話

ロータリー:変化をもたらす

持続してゆく為必要な変化

三つの優先事項(クラブのサポートを強化する、人道的奉仕の増加と重点化、公共イメージと認知度の向上)に取り組む。

- ・ クラブのサポートと強化
30歳未満の会員増強と女性会員の増強の必要性を強調
- ・ 人道的奉仕の増加と重点化
ロータリー奉仕活動を行う上で、ロータリー財団は大切な存在です。資金、サポートの必要性を訴えました。
- ・ 公共イメージと認知度の向上
ロータリー組織の取組みを知らない人が殆どあった。
地区、クラブで一貫性、継続性を持ってロータリーのブランドを発信していく。



地球の持続可能性

各会員は少なくとも一本の植樹をしましょう。
長井ロータリーは早くに行われて素晴らしいと思います。

ロータリーも112年生き延びました

時代と共に変化することを拒まなかったからです。この度の規定審議会で多くのロータリアンの声を反映することが出来ました。この変化を機会ととらえ、課題に取り組みクラブに変化をもたらすことができるでしょう。

この世の一番の悲劇は無関心です

奉仕、友情、誠実、信頼性、関心があるということがロータリアンの価値観であり、それを実行するのがロータリーのユニークさです。

☆次回例会予定

- 7/18 休会
- 7/25 夜例会 ビアパーティー

☆出席報告

7月11日例会 報告者：伊藤委員長

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日	27(4)	20(1)	74%			
前回 (7/4)	29(4)	23(4)	85.20 %			
前々回 (6/27)	29(3)	25(3)	86.21 %			